

# 函館のまちづくりを考える はこまち通信

Vol. **46**  
2018年10月  
発行/函館市地域交流まちづくりセンター

## 「第14回NPOまつり」「夏休み工作フェスティバル」を開催しました!ご参加ありがとうございました!



第14回「NPOまつり」の様子

### 《年末年始休館日のお知らせ》

休館日

12月31日(月)~1月3日(木)

12/29~12/30

1/4~1/6は、17:00閉館



### ピックアップ

- ・地域に根差した活動で日々奔走中!! P4
- ・NPOの組織基盤強化を本気で考える2日間! P10
- ・まちセンスタッフかやもりの上へまいりま〜す② P11

### 今号の市民活動団体

- 1 函館生涯学習インストラクターの会
- 2 函館がん患者家族会「元気会」

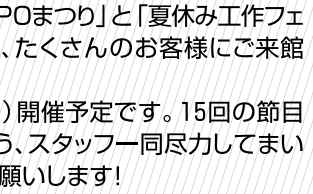
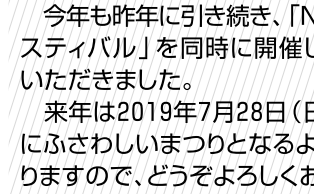
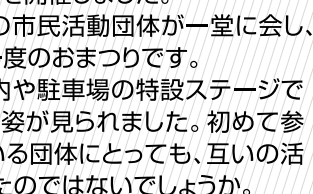
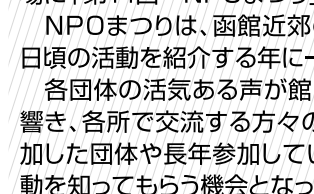
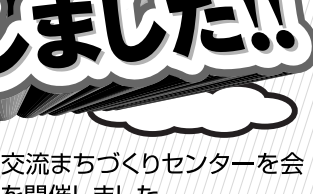
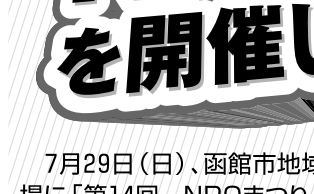
### もくじ

- ※ P2~3 …… 「NPOまつり」「夏休み工作フェスティバル」の活動写真紹介
- ※ P4 …… 「移住サポートセンター」より
- ※ P5 …… 連載「気がつけば函館市民になっていた」
- ※ P6~7 …… NPO・市民活動団体紹介
- ※ P8 …… NPOワンポイントアドバイス/センター長のつばやき
- ※ P9 …… どんぐり2号店/cafe Drip Drop
- ※ P10~11 …… まちセンからのお知らせ

ご利用案内



まちセンからのお知らせ



# 第14回 NPOまつり を開催しました!!

7月29日(日)、函館市地域交流まちづくりセンターを会場に「第14回 NPOまつり」を開催しました。

NPOまつりは、函館近郊の市民活動団体が一堂に会し、日頃の活動を紹介する年に一度のおまつりです。

各団体の活気ある声が館内や駐車場の特設ステージで響き、各所で交流する方々の姿が見られました。初めて参加した団体や長年参加している団体にとっても、互いの活動を知ってもらう機会となったのではないのでしょうか。

今年も昨年に引き続き、「NPOまつり」と「夏休み工作フェスティバル」を同時に開催し、たくさんのお客様にご来館いただきました。

来年は2019年7月28日(日)開催予定です。15回の節目にふさわしいまつりとなるよう、スタッフ一同尽力してまいりますので、どうぞよろしくお祈りいたします!



まちセンからのお知らせ



きらきらガラスアート



木のスプーンの  
オリジナルデザイン



パステル和(なごみ)アート



お菓子のコルクボード

まちセン 2018.7.29

# 夏休み工作 フェスティバル

全8講座を  
開催しました!



タイルクラフト



かんたんモール  
あそび



ビーチクラフト・  
木工クラフトなど



手回しオルガン  
KINO



レザーネームタグ

## 移住サポートセンターより

函館に移住された方をご紹介します。

### 地域に根差した 活動で日々奔走中!

祖父がアルツハイマー型認知症になり、介護をしていた祖母からの SOS がきっかけで、4 年ほど前に札幌から函館に住む祖父の家へ引越してきました。函館での生活が始まると、祖父の症状は聞いていたよりも重く、進行も早かったため、函館のまちを堪能する暇もなく、ただ 1 日 1 日を過ごす毎日でした。

そんな日々も落ち着いてきたとき、「どうするの? その札幌に帰るの?」と家族から今後のことを聞かれ悩みました。私は以前から、落ち着いたら札幌に帰ると話していたのです。

すでに函館に来て 2 年が経っていましたが、外出する機会と云えば、祖父の徘徊や病院の付き添い、施設の往復、近所のスーパーへの買い物だけでした。函館に住んでいるという感覚もなく、友人もいません。このまま函館に住み続ける理由が見つかりませんでした。

そんな時、以前 10 日ほど過ごしたウィークリーマンションスモッカのご

主人を思い出しました。

スモッカの内部はとてもアットホームで、建物の玄関を入ると、カフェスペースがあり、そこを通って各住居に入る構造になっていました。とても気さくで親切なご主人がいて、住人が生活の中での「ちょっと困った」を話すと一緒に考えてくれるのです。ご主人の程よい距離感はとても安心感があり、居心地の良さを感じさせてくれました。ご主人曰く、「痒いところに手が届く」ようにしているから良い距離で関わられるのだそうです。

曜日を決めてカフェの営業もしていて、地元食材で作られたランチや苦手な人でも飲みやすいブレンドのコーヒーをワイワイおしゃべりしながら頂くと、あつという間に時間が過ぎてしまいます。メニュー一つ一つに生産者さんの物語があり、それを熱く語るご主人の情熱には惹きつけられるものがあります。また、ボランティアでカフェのお手伝いをする住人がいるなど、カフェスペースがマンションの住人と地域住民との交流の場にもなっていました。

短期間ではありましたが、私はスモッカで人の温かさや、まちの楽しみ方、地域と関わることの大切さを学ぶ事ができ、ありがたく思います。

札幌に帰るか迷い、函館での思い出を振り返ったとき、スモッカとの関りが函館で生活してみようと思わせしてくれました。「またスモッカに行

きたい。」が介護で引きこもりがちになってきた私の外に出かける原動力となり、スモッカで過ごした際に体験した人との関わり方が、知り合いのいない新天地で人の輪を広げること繋がり、函館に根を張るきっかけとなりました。

先日発生した北海道胆振東部地震では、函館市内も長い停電によって暗闇での生活を余儀なくされました。そんな中、スモッカでは自然とマンションの住人がカフェスペースに集まり、小さな明りで談笑しながら楽しく過ごしたそうです。日頃から顔の見える関係をつくってきたからこそ、災害をみんなで乗り越えることができるのでしょつ。

地域で支え合うのが当たり前だった生活文化も、最近では希薄になったと言われています。しかし、一人一人が持つ支え合いの心は本当に弱まったのでしょうか。もしかしたら、ただ發揮できていないだけかもしれません。發揮できる場所や間柄、周りを見渡す少しの余裕など、ちょっとした要素がそろったとき、地域の仕組みが動き出すように思います。

今では、生涯函館で過ごしたいと思っていますし、そう思える場所に出会えたことを嬉しく思います。札幌にいた頃は、なぜそこに住むかなど考えたこともありませんでした。生まれたときからそこに住んでいるという安心が備わっていたからかもし

れません。

長く生活をしていくには景観や利便性だけではなく、そこに関わる「人」も重要な要素だと思えます。私が定住を決めたのは、ゆつたりとした時間の流れる函館の程よいのどかさ、その街で生きる人々のあたたかさに触れることができたからです。まだまだ体験しきれない函館の魅力を、少しずつ楽しむことで、4 年経っても発見の多い素敵な日々を過ごしています。

住友 紫帆



スモッカのカフェスペース

#### カフェ スモッカ

函館、七飯、厚沢部、森などの近隣野菜やお米、魚などを仕入れています。新鮮野菜を使ったランチプレートがおすすりめです! 手打ちそばもあります。スモッカには、ちょっと暮らし、短期滞在住宅がありますので、お問合せください。

営業日  
土・日・月・火  
営業時間  
10:30~16:00

函館市柳町6-11  
駐車場あります

お問い合わせ  
090-6697-0980 (中田さん)

<http://www3.ncv.ne.jp/~nakayos/index.html>



## 町にデパートが あるというイベント

### 駅前2店のインパクト

函館駅を出て電停に向かうと、交差点の左角にWAKO、右角に棒二森屋が見える。地元市民にとっては当たり前風景だったのかもしれないが、よそ者の私にとっては、実にインパクトのあるものでした。

デパートなんて、どんな町にもあるものではありません。デパートがあるということは、その町が地域の中心地として栄えてきた証です。それが函館では、駅を出るとすぐにつ



WAKOがあって、棒二森屋があって。函館駅前といえば、この風景だったのです

も目に飛び込んでくる。しかもどちらも地元のデパートです。ここにかない、というところがいいのです。実名を出すのも何ですが、もしそれが大丸や高島屋、伊勢丹だったら、京都にもあるわけで、旅先でわざわざ入ろうとも思いません。

そこへいくと、よく「棒二森屋」なんて、屋号がそのままデパート名になったようで、伝統を感じさせられます。するとますます中をのぞいてみたくなりますし、「この町は何で発展してきたのだろうか」など、デパートのできた背後にある町の歴史にも興味を湧くというものです。

実際に棒二森屋は、北洋漁業という函館ならではの富の生産装置により栄えた大門とともに、歴史を刻んできたわけです。

### デパートの思い出

私と同年代の50代後半の函館の人は、「子どものころ、日曜日に家族で棒二森屋へ行って、屋上遊園地で遊び、食堂でお昼を食べると幸せだった」と言っていました。

世代によってはピンとこないかもしれませんが、今ほど娯楽のなかった高度経済成長期には、家族の休日の舞台といえばデパートでした。

だから私も同じです。親に連れられ大丸に行くのが楽しみでした。

函館の子どもとしての棒二森屋は、関西の子どもだった私にとっては大丸みたいなもの。ただ、店内の様子も違えば、屋上遊園地や食堂のメニューなんかにも違いがあって、同じ「家族の日曜日」でも、それぞれにローカル色があふれていたと思います。

### 棒二森屋前最後の港まつり

今年は何年かぶりに、港まつりの「ワッショイはこだて」をじっくり見物しました。函館駅前からグリーンプラザにかけて、「いったいどこから人が湧いてくるのだろう」と不思議に思うほどの人出でした。パレード参加者も見物客も、以前より減っているとのことですが、さすがは港まつりです。

ただご存じのように、駅前交差点にWAKOの姿はすでになく、キラリ又函館がそびえています。一方、棒二森屋は健在です。しかしその壁面には、「150年の感謝を込めて。閉店売りつくし」という垂れ幕がかかっています。

店内の貼り紙には、2019年1月31日をもって営業終了、とありま

した。聞くところでは、その後、ほどなく建物の解体工事に入るとか。

棒二森屋の本館は、昭和12年に新築された後、6度も増築され、今に至ります。昭和57年に駅前交差点角のアネックスが増設されました。そういう建物自体が、繁栄の生き証人のようなもの。ちょっと古風な外観や内装にも味わいがあります。

長い歴史に幕が下ろされるといことは、いろいろな事情があるのでしよう。部外者でよそ者の私など、何かを言える立場にはありません。ただ来年から、港まつりの風景も変わることだけは確かかなようです。



港まつり・ワッショイはこだて「子供いか踊り」。棒二森屋前で見えるのもこれが最後

#### ★プロフィール★

おおにし つよし  
大西 剛さん

1959年生まれ、大阪出身。  
2011年秋より函館に移住し、「新函館ライブラリ」を設立。函館本の出版に取り組む。近ごろはYouTube(チャンネル名「新函館ライブラリ」)でも、コアな函館情報を発信。

NPO・市民活動団体紹介のページ

# 函館生涯学習インストラクターの会

## ■どんな団体？

私たちの会は、平成17年に発足し今年で13年目を迎えました。会員は、生涯学習インストラクターやコーディネーターの資格を有している人たちと、生涯学習に関心を持っている人たちが構成されています。活動の中心は月に一度の「月例研修会」へ出席し、それぞれの得意分野を教えたり学んだりしています。

また、生涯学習の普及や発展のため、講座や教室を開いています。依頼があれば、講師やアドバイザーとしても活動しています。さらに「放課後子ども教室」の支援活動も行っています。

## ■団体のPR

私たちの会は、年間10回程程度の「月例研修会」を開催しています。基本的には、毎月第3木曜日18:30～ 函館市青年センターを会場としています。

月例会の講師は、会員持ちまわりで行っています。年2回は青年センター以外で行っています。その一つは、森町で陶芸工房を開催している会員の磯尾さんにお願しいし「陶芸体験」にチャレンジしています。もう

一つは、北斗市でレストランを運営している会員の大和さんにお願しいし「野菜を食す」と題し、美味しい食事をしながら「野菜」を学んでいます。

今年「生涯学習フェア」を4日間、函館市地域交流まちづくりセンターで開催させていただきました。

オープンスペースでの展示や講座は、会として初めてのことでしたが、多くの一般の方たちに生涯学習に取り組む私たちのPRができたと思っています。

来年も今年の反省をふまえて「生涯学習フェア」を開催していきたいと思っています。

## ■会員募集など

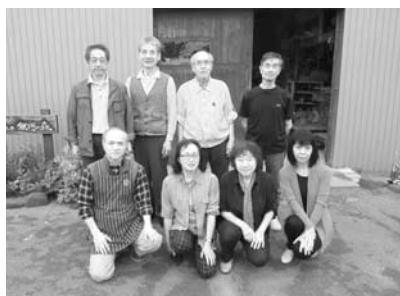
当会の目的や活動に興味のある方は、ぜひ一度気軽な気持ちで「月例研修会」に参加していただきたいと思えます。会員の募集は随時しておりますので、事務局までご連絡ください。会員の年会費は3000円ですが、まずはどの様なものなのか体験してください。



平成30年度 総会にて



生涯学習フェア



6月度月例会「陶芸体験Ⅲ」にて

## ■これからの活動

今後の活動としては会員の拡大とともに、各団体の支援をしていけたらと思っています。そのためにも多くの人と知り合うことや、他の団体との交流が大切になってきます。これからの活動には「コラボレーション」が重要になると考えています。

「ある時は学び、ある時は教える」「ある時は聞き、ある時は語る」

## 函館生涯学習インストラクターの会

- 代表者名／会長 浜田 愼 ■事務局名／奥村 茂樹 ■会員数 18名
- 電話／090-3117-0338 FAX／050-65-3042 ■メール s.okumura@ncv.jp
- ホームページアドレス 函館生涯学習インストラクターの会Facebook

## NPO・市民活動団体紹介のページ

# 函館がん患者家族会「元気会」

### ■どんな団体？

平成20(2008)年7月、がんの当事者3人で立ちあげた患者会です。がんの患者同士が、不安や悩みを語り合うことで交流を深めながら、孤独を解消して、精神的な支えを目指しています。

がんになっても心まで病気になるために、毎月1回集まり、茶和会や専門家を招いての講演会、健康体操、大人のぬり絵、外で食事会などを行っています。専門知識を学ぶ事も大切ですが、自分たちのQOL(生活の質)を高めるために楽しい事をするのが一番です。

### ■団体のPR

会員の多くは当事者ですが、家族だけの集まりも企画したりしています。

元気会では不要になったウィッグを譲り受けて、がん治療で脱毛した患者に貸し出す「ウィッグレンタル事業」を行っています。女性患者にとって、抗がん剤の副作用とはいえ、脱毛は外見に大きな変化があり、ショックは大きいものです。ウィッグで引きこもりにならず、外出して元気に過ごしましょう。貸し出しは月1回、港町にある市

立函館病院で実施しています。貸し出しの期限はありません。メンテナンス料2000円がかかります。

また、元気会が手作りしている「タオル帽子」は室内でも就寝時でも頭にやさしく好評です。

### ■会員募集

元気会は、がんの部位や性別、年齢にこだわらない患者会です。ぜひ一度、見学にいらしてください。会費は、年間2000円です。みんなで

集まりおしゃべりをしたり、様々な情報交換をしたりして、元気を分かち合います。入会したい方は、事務局野口までお問い合わせください。



「リレーフォーライフはこだて」に、元気会で参加しました



みんなでロープウェイに乗り函館山へ  
～地元にいながら函館山にきたのは何十年ぶりという方もいて、晴天の中ホントに気持ちよくて元気にになりました!～

### ■これからの活動

がんになっても安心して元気に毎日を暮らしていく事ができるよう、みんなで集まり、これからも元気を分かち合いたいです。

札幌や他の患者会とも交流し、情報交換も続けていきたいと考えています。

がんがあっても、がんになっても、みんなで元気にならない会？

## 函館がん患者家族会「元気会」

■代表者名／齊藤 佐知子 ■事務局／野口 かつよ ■会員数／31名  
■電話(FAX兼)／0138-48-2056

# NPOワンポイントアドバイス!

43号からシリーズで紹介している、「会議」を効果的・効率的に行うコツ。  
 今回も、会議のタイプ別の攻略法をお伝えします。  
 会議上手になって、組織の力も高めましょう!

## 5.AかBかなど、どれかひとつを選ぶ会議

### ①まず、どんな選択肢があるのかを整理します

まず、会議のテーマに沿って、考えられる選択肢を全てリストアップしてみましょう。  
 (例:研修会の会場を決める場合、市内の公共施設を全て書き出してみる。など)

### ②今回の判断基準を確認する

次に、目的を念頭に入れ、何を判断の基準にするのかを確認します。  
 (例:研修会の会場を決める場合、広さ? 料金? アクセスの良さ? 設備? など)

### ③それぞれのメリット、デメリットを把握し、決断する

選ぶ対象を絞ったら、双方を比較します。双方のメリット、デメリットを出し合い、どうすればデメリットを解消できるかどうか(そのしやすさ)を検討していくことで、より良い決定ができるようになります。  
 (例:遠方から来る人が多いので、アクセスの良さを優先。その代わりに、会場費が高くなるので参加費を上げよう。など)

## 6.企画会議

### ①「やりたい!」だけではだめ

「やりたい!」という強い思いは大切ですが、それだけでは良い企画はできません。「社会から必要とされているか」「実現可能か」も入れた、“三つの柱”が揃っているかを確認していきましょう。

### ②足して2で割っても、良い企画は生まれない

皆さんの意見を少しずつ入れていくことで、結果としてピントが絞れていない企画になってしまうことがよくあります。皆の思いを足して2で割ることではなく、どの意見を採用し改善していくのかという視点を大切に、企画を進めていきましょう。

参考:青木将幸著『市民の会議術 ～ミーティング・ファシリテーション入門～』(ハンズオン埼玉出版局)



### センター長のつぶやき

まちづくりセンターセンター長 丸藤 競

NHKの『チョコちゃんに叱られる』(総合:毎週金曜日19時57分。再放送、毎週土曜日8時15分)が大好きです。

永遠の5歳の女の子チョコちゃんから投げかけられる素朴な問いに大人が答えられずにいると、チョコちゃんから「ポーっと生きてんじゃねえよ!」と叱られてしまうというものです。

この番組、チョコちゃんの実在感(声は、キム兄がほぼアドリブ。姿は、着ぐるみ+最新のCG)や、「取り繕わない」とか「やたら正直」(「分かりませんでした」というのが正式な答えだったこ

ともあるし、失敗もそのまま伝える)という姿勢。“NHKにしかつけないNHKらしくなさ”などが人気の秘密とされています。

でも、一番の理由は、なんと言ってもチョコちゃんの「ポーっと生きてんじゃねえよ!」という決め台詞。この言葉、私には、単に素朴な疑問に答えられない大人の不甲斐無さを叱っているだけでなく、もっと大切なことに対する警鐘のような気がしてなりません。5歳の女の子から大人に向けての「ポーっと生きてんじゃねえよ! このままだと、日本はおかしくなっちゃうぞ! 私の未来をどうしたいんだ!」という叫びのように聞こえてしまうのです。

大人の皆さん。5歳の女の子から褒めてもらえるような「未来づくり」をしていますか?このままだと、チョコちゃんに叱られ続けますよ!





▲大人気!!はこだて土偶ッキー



▲しおり付きクッキー

## 福祉の店 どんぐり 2号店

(まちづくりセンター1階)

近年、毎年言われているのが異常気象や記録的な高温等により人的な被害が出ていることです。豪雨による土砂崩れや熱中症による人的被害が出ていることに心を痛め、衷心よりお悔やみを申し上げます。最近の事件の報道を見ていると、人が人を殺すというおぞましい事件が多発しています。以前からこのような凶悪犯罪は沢山あったのでしょうか。人を思いやり、慈しむという情愛が少なくなってきたに気がしてなりません。「高齢者」・「児童」・「障がい者」の虐待防止法が施行されてから幾年か経ちますが、いまだに虐待が減少されないのは、人権を尊重する気持ちが少ないのではないのでしょうか。すべての市民が安心して生活出来る環境をつくってきたいものです。

涼しくなって参りましたので、まちセンの福祉の店「どんぐり2」へ足をお運びください。きっと気に入った商品が見つかります。

■営業時間 / 10:00~16:00

■定休日 / 土・日曜日・祝日

製品は、函館市総合福祉センター1階・函館市役所地下売店でも販売しています。

たまにはコーヒー以外の話をしましょうか。

私が好きなものに発酵食品があります。味噌、塩麴や醤油麹を使った料理、甘酒など。甘酒といっても炊いたご飯に麴と水を混ぜて発酵させたもので、アルコール分はありません。自然な甘みがでておいしいので、朝、ヨーグルト代わりに食べたり、料理に甘味を出したいときに使ったりしています。初夏、新鮮な鰯が獲れ始めたらアンチョビを仕込みます。本当はカタクチイワシで作るのですが、見つからないときはマイワシでも作っちゃいます。大味だという人もいますが、自宅でパスタやじゃがいもに混ぜて使うには充分。イカの塩辛もこの季節の定番。青唐辛子や柚子胡椒を入れてもおいしいですね。そしてこの季節はきゅうりやナスの漬物。刻んで塩や塩麴をもみこみキッチンに置いておくと、乳酸発酵して夕方には食べごろになっています。

今年初挑戦したのが酵母でした。いつもジャムを作る地元のいちごや、りんご、バナナなどいろんな果物で酵母を起こしました。水と一緒に瓶に入れ温かい場所に置くと、2~3日でふつふつと気泡がでてきます。瓶を開けるとシュッと音がして、勢い余って噴き出すことも。わー、酵母が生きてる!このフレッシュな自家製酵母でカンパニユを焼きました。温度管理が難しかったので、ちゃんとパンが焼けたときは感動!もっぱら自家用ですが、これからもときどき作ってみようと思います。

飯寿司やキムチなどに挑戦したこともあります。これは休みと気がないとなかなか作れませんね。今年の冬はできるかな?ちょっと手間はかかるけれど、発酵食品は作るのも食べるのも楽しいです。

### ◎Coffee Break

先日機会をいただいて、コーヒーレッスンの講師をさせていただきました。コーヒーの淹れ方のコツや豆による味の違いをお話しし、飲み比べもしてみました。淹れ方を変えたのと、水を変えたのと。同じコーヒー豆を、汲みだての水道水とミネラルウォーターでそれぞれ淹れてみると…。はっきりと味が違いました。ぜひお家でもやってみてください、面白いですよ。

参加の方々に楽しんでいただけたようでホッとしました。コーヒーレッスン、機会があればまたやってみたいです。

cafe DripDrop★米田尚子



煎りたて珈琲と  
地物野菜メインのお食事

## cafe DripDrop

カフェドリップドロップ



コーヒーレッスンの様子

■営業時間 / 10:00~18:00

■定休日 / 水曜日

ホームページ

<http://handpick.cafe.coocan.jp/>

まちセンからのお知らせ

助成金のこと、事務手続きのこと  
もっと詳しく知りたい！学びたい！とお考えの  
市民活動団体のみなさんへ

助成金活用&組織評価&事務力

## NPOの組織基盤強化を 本気で考える2日間！

日時

2018年 **11月6日** (火) **13:00-18:00**

**11月7日** (水) **9:30-17:00**

参加費

2日間 **4,000円**

会場

函館市地域交流まちづくりセンター

1日目のみ参加の場合は1,000円  
2日目のみ参加の場合は3,500円

函館市末広町4-19  
函館市電「十字街」電停より徒歩1分

1日目  
11/6  
(火)

### 「本気で助成金活用を考える！ ～今必要な“組織評価”～

団体の『信頼性』を高めるために必要な  
『組織評価』について詳しく知ろう！



講師:山田泰久氏

NPO法人CANPANセンター代表理事  
一般財団法人非営利組織評価センター（JCNE）業務執行理事  
寄付月間推進委員会委員  
社会的インパクト評価イニシアチブ共同事務局

2日目  
11/7  
(水)

### 「本気で取り組むNPO事務力UP & NPO事務力検定」

NPO法人の運営に必要な所轄庁手続などを学ぶセミナーです。  
その後に『NPO法人事務力検定』を受けることにより、習熟度  
を図れます。事務手続の不安を解消したい方におすすめです。

お申込み・お問合せ NPO法人北海道NPOサポートセンター  
共催/北海道NPOサポートセンター・NPOサポートはこだて・非営利組織評価センター  
TEL: 011-200-0973 事前申込制 定員30名 申込締切 11月2日(金)



# かやもりの 上へまいりま〜す! vol.2



みなさんこんにちは!まちセンの新人スタッフかやもりでございます。今号も私がまちセンで学んだこと、日々感じたことなどをお伝えしてまいります。どうぞおつきあいくださいませ。東北以北最古のエレベーター

大勢のお客様をお迎えした8月が終わりました。まちセンは地域住民の方、観光客の方、GLAY野外ライブで函館にいらした方なども加わり、とても賑やかでした。私も西部地区にはだいぶ詳しくなりましたので、飲食店の問い合わせには『マスターの話題』など、私しか知らないようなマニアックな情報も織り交ぜながら、観光案内業務を行っています。

GLAYファンのみなさんの『記念撮影のお手伝い』にも力が入りました。ファンの方を階段までご案内し、ポーズを確認しながらスマホのシャッターを押す私。なかでもライブ当日はたくさんの方をご案内しましたので、私の『撮影スキル』は格段に向上したと思います。

近頃は「かやもりくん!」と声をかけていただけることも多くなり、私のモチベーションアップにつながっています。もしかすると、はこまち通信(この企画ページ)の効果もあるのかも知れません。

「ちょっと相談したいことがあるんだけど…」といった場面もあります。先輩スタッフに教わったり、

これまで学んだことを活かしながら対応することが多いのですが、かつて私が携わった福祉の現場で培ったスキルが思いがけず役立つ場面もあります。相談に来られた方の言葉に耳を傾け、解決の道を探り、役立ててもらいたい!ただし、内容によっては関係各所に問い合わせたりなど、その場での回答が難しいこともあります。

まちセン新人スタッフは、札幌で行われる研修で学べるチャンスがあり、私も7月より『市民活動中間支援センター研修会(札幌)』に参加しています。研修は11月までの全5回。しっかり学んで、次回の『上へまいりま〜す!』ではその報告もできれば…と思います。どうぞお楽しみに!

どこへ相談しようか迷う困りごと、サークル活動の会場をお探しの方、ディープな函館案内をご希望の方にスムーズにご案内できるようにと、「日々精進!」それでは今日も「上へまいりま〜す!」

## かやもりのイチオシ! まちセン萌えスポット②

### 大理石の階段

私は、おそらく小さい頃から土器や化石など『大昔のモノ』にロマンを感じるタイプの子供だったのでは?と思います。発掘作業の真似事をして地面を掘ったり「シーラカンズ展に行きたい!」と親に頼み込んで連れて行ってもらったことも。

まちセンの大理石にも「化石では?」と思われるものがあります。写真では分かりにくいと思いますが、「来たことがなかった」「いつも行っているけど、気が付かなかった…」という方は、ぜひまちセンまでお越しください(もちろんその他が目的の方も大歓迎!)

1Fから5Fまで続いている階段では、まだ化石を見つけた人はいないと聞いております。もし、コレは!?と感じた方はコソコソと教えていただけると嬉しいです。周りに主張しすぎず、気付いた者だけをニヤッとさせる大昔の痕跡。色々なことを想像させてくれるところが、私としては萌えポイントです。

★プロフィール★  
かや もり しゅう き  
茅 森 昇 起  
1992年、海の日生まれの26歳。福祉の仕事に従事する一方で、まちセンへの思いは高まる一方。2018年4月より念願叶って常勤スタッフに。特技はイラスト。  
※この連載は全4回です。



この夏、大勢のGLAYファンがまちセンの階段で、このポーズで撮影しました。私かやもりも記念に1枚。

## 施設利用料金

税込(円)

階	会場名	面積	参考レイアウト		基本料金	
		m <sup>2</sup>	形	席数	単価	金額
2階	多目的ホール	272	シアター	約100	1日あたり	10,000円
			スクール	約60		
	研修室A・B	50	シアター	約50	1時間あたり	500円
			スクール	約30		
研修室C	24	シアター	約30	1時間あたり	500円	
		スクール	約20			
3階	会議室A・B	50	シアター	約50	1時間あたり	300円 (一般利用500円)
			スクール	約30		
	会議室C	24	シアター	約30	1時間あたり	300円 (一般利用500円)
			スクール	約20		

※会場には、テーブル、イス、ホワイトボード、空調設備を備えています。※駐車場/2時間無料、超過30分までごとに100円  
 ※営利目的(入場料を徴収したり、物品を販売するなど)で使用する場合は、割増料金となります。

### 備品利用料金

備品名	利用料金
音響機材(研修室・会議室用)	1,000円
音響機材(多目的ホール)	2,000円
プロジェクター	1,000円
スクリーン	500円

※その他、設備等については、ご相談ください。

活動支援費 要相談 **1,000円**

### 印刷機使用料金 ※用紙代別

- ① 製版代/1枚……………100円
- ② 印刷枚数/10枚まで……………10円  
(以後10枚毎に10円加算となります。)

※例) 12枚/20円、137枚/140円、1543枚/1,550円です。  
 ※①製版代+②印刷枚数が必要です。  
 ※印刷用紙は各自でご用意ください。また、小銭のご用意をお願いします。

### コピー料金

- ① 白黒/B5・A4・B4・A3…1枚 10円
- ② カラー/B5・A4・B4…1枚 50円
- ③ カラー/A3…1枚 100円

### 横断幕プリント/ ポスタープリント料金 ※用紙代含む

- ① 610mm×1.5m…1枚 2,400円
- ② 610mm×3.0m…1枚 2,600円
- ③ 610mm×4.0m…1枚 2,900円
- ④ 610mm×5.0m…1枚 3,200円
- ⑤ A2版(420mm×594mm) 1枚 1,200円
- ⑥ A1版(594mm×841mm) 1枚 1,400円

※横断幕は文字原稿、ポスターはチラシ又はPDF形式で原稿をお持ちください。

### ■【各施設の使用申し込みについて】

- 利用日時、利用目的をご確認のうえ、TEL.0138-22-9700、または、函館市公共施設予約システムよりお申し込みください。  
<https://yoyaku.e-harp.jp/hakodate/>

【お問い合わせ】



## 函館市地域交流まちづくりセンター

〒040-0053 北海道函館市末広町4-19

TEL.0138-22-9700 開館時間 AM9:00～PM9:00

FAX.0138-22-9800 休館日 年末年始(12/31～1/3) ※器材点検のため月1回程度臨時休館する場合があります。

ホームページ <http://hakomachi.com/> 函館 まちセン

【指定管理者】NPOサポートはこだてグループ